



開かずの踏切解消と共に、京王線沿線のまちづくりを進めています。

世田谷区では、京王線沿線において地域の皆様の意見を踏まえた地区街づくり計画または地区計画等の策定を行っております。

詳細は、区ホームページよりご覧いただけます。
 トップページ > 住まい・街づくり・交通 > 街づくり > 街づくり (各総合支所管内の街づくりにお進みください)

北沢総合支所 街づくり課管内

桜上水・下高井戸

平成 25 年度に「地区街づくり計画」を策定しました。地区街づくり計画実現に向け、「街づくり懇談会」や学習会等を開催しています。



明大前

平成 28 年 3 月に、「地区街づくり計画」及び「駅前広場周辺地区計画」のたたき台について意見交換会を開催しました。地域の皆様からいただいたご意見を踏まえ、計画策定に向けた取り組みを進めてまいります。

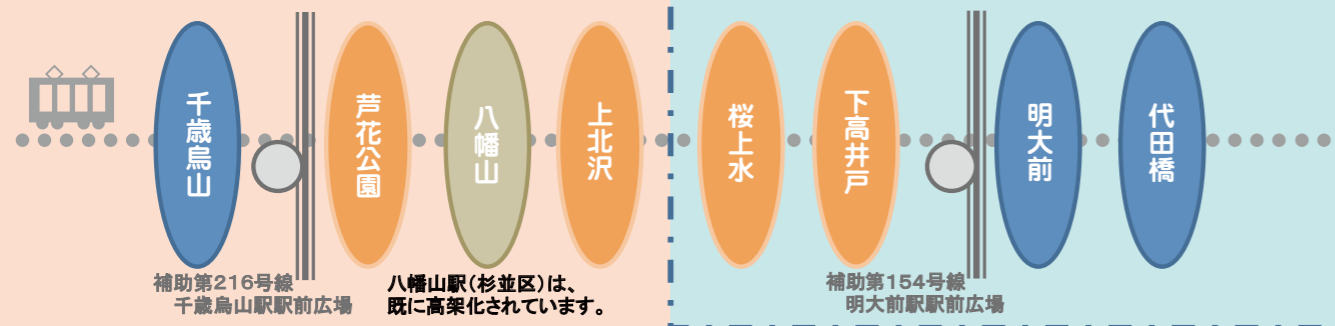


代田橋

平成 27 年度より「放射第 23 号線沿道地区街づくり懇談会」を開催しており、沿道の街の将来像を地域の皆様と検討しています。また、駅周辺地区では「地区街づくり計画(案)」の作成を進めてまいります。



地区街づくり計画等策定済み 地区街づくり計画等策定中



鳥山総合支所 街づくり課管内

千歳烏山

平成 26 年 5 月に「街づくり構想」を策定し、人々が集い交流し回遊する駅前にはふさわしい、歩きやすく、ゆったり時間を過ごせる地区特性を生かした商業・業務拠点の形成を目指しています。今後、皆様の意見を伺いながら街づくり構想の実現に向けた整備手法等を検討し、計画づくりを進めてまいります。



芦花公園

災害に強く、安全で安心して暮らせる街づくり等を目標に、地区住民の皆様のご意見を踏まえ、平成 28 年 3 月に「地区街づくり計画」を策定しました。



上北沢

平成 25 年 7 月に策定しました「地区街づくり計画」について、まちづくり協議会より、計画実現に向けた提言をいただきました。これを受けて、平成 28 年 2 月に開催した意見交換会で頂いた地区住民の皆様のご意見を踏まえ、地区街づくり計画の拡充に向けた取り組みを進めてまいります。



京王線の連続立体交差事業に関連して、区が事業認可を取得した「補助第 154 号線(明大前駅付近)及び明大前駅前広場」「補助第 216 号線(千歳烏山駅付近)及び千歳烏山駅前広場」については、道路・交通政策部 道路事業推進課にて事業を進めております。

詳細は、区ホームページよりご覧いただけます。
 トップページ > 住まい・街づくり・交通 > 道路・土地・水道 > みちづくり(道路計画) > 都市計画道路、主要生活道路、地先道路、狭あい道路の拡幅整備 > 事業中の道路(都市計画道路・主要生活道路)

～京王線連続立体交差事業の「事業及び工事説明会」が開催されました～

京王線沿線まちづくり通信

発行：2016年7月 世田谷区道路・交通政策部交通政策課

1面 ▶ ①事業及び工事説明会の内容 2・3面 ▶ ②交通運用の基本的な考え方について ③説明会での主な質疑応答
 4面 ▶ ④駅周辺の街づくりについて

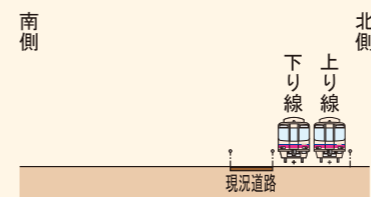
東京都及び京王電鉄等と進めている、京王電鉄京王線(笹塚駅～仙川駅間)の連続立体交差事業及び関連する側道整備の「事業及び工事説明会」を、平成 28 年 2 月 4 日(木)～平成 28 年 2 月 10 日(水)の期間にかけて計 6 会場で開催いたしました。来場者数は、6 会場で延べ 1,758 名の皆様にご参加いただきました。

今回のまちづくり通信では、説明会での内容として、工事の施工順序や側道の交通運用の基本的な考え方、また参加者の皆様から頂いた様々な質問等を中心にお知らせします。さらに駅周辺の街づくりの状況についてもご紹介いたします。

1 事業及び工事説明会の内容

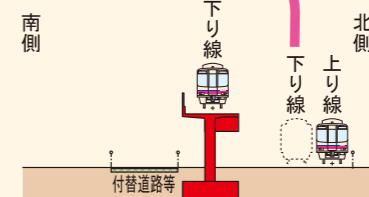
施工順序図(駅間部)

① 現況



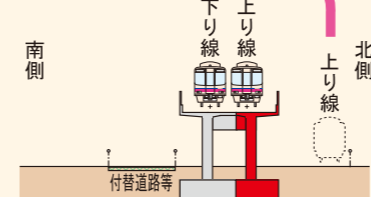
新宿側から京王八王子方面を見た、現在の状況です。

② 下り線高架化



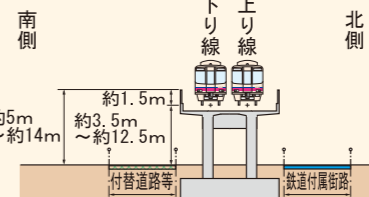
南側に用地を確保し、付替道路を整備します。次に、下り線の高架構造物を構築し、下り線を高架化します。

③ 上り線高架化



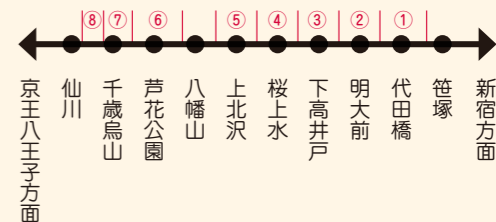
上り線の高架構造物を構築し、上り線を高架化します。

④ 完成



最後に鉄道付属街路を整備します。

工区分けと施工者(鉄道施設)



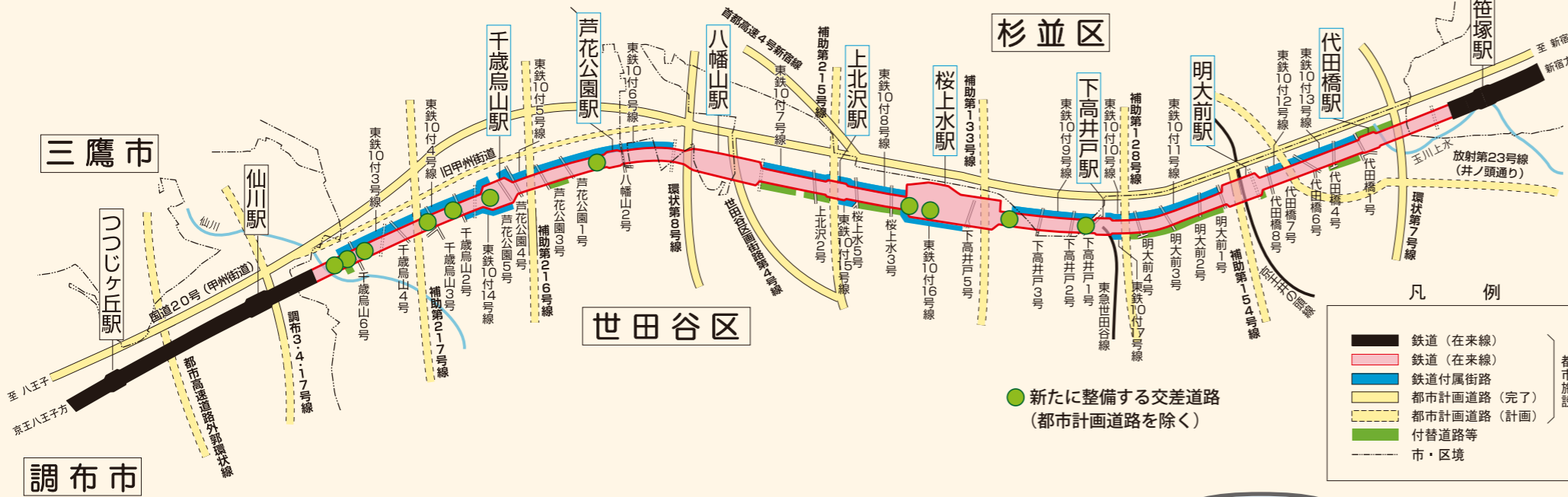
- ① 大林組・京王建設 JV
- ② 大成建設・竹中土木 JV
- ③ 清水建設・三井住友建設 JV
- ④ 鹿島・京王建設・東亜建設工業 JV
- ⑤ 鴻池組・竹中土木 JV
- ⑥ 東急建設・京王建設・鉄建 JV
- ⑦ 安藤ハザマ・浅沼組 JV
- ⑧ 戸田建設・銭高組 JV

※駅部の施工順序については、東京都建設局ホームページ「どうけんライブラリー」内にある、事業パンフレット「京王電鉄京王線(笹塚駅～仙川駅間)の連続立体交差事業及び関連する側道整備について」をご覧ください。
 ホームページ URL <http://www.kensetsu.metro.tokyo.jp/douken/lib/index.html>

② 交通運用の基本的な考え方について

連続立体交差事業及び関連する側道整備の概要図

今回の連続立体交差事業により、25箇所の踏切を除却し、交差道路（※）を整備します。
また、新たに11箇所の交差道路（●）を新設し、あわせて側道（鉄道附属街路、付替道路等）を整備します。

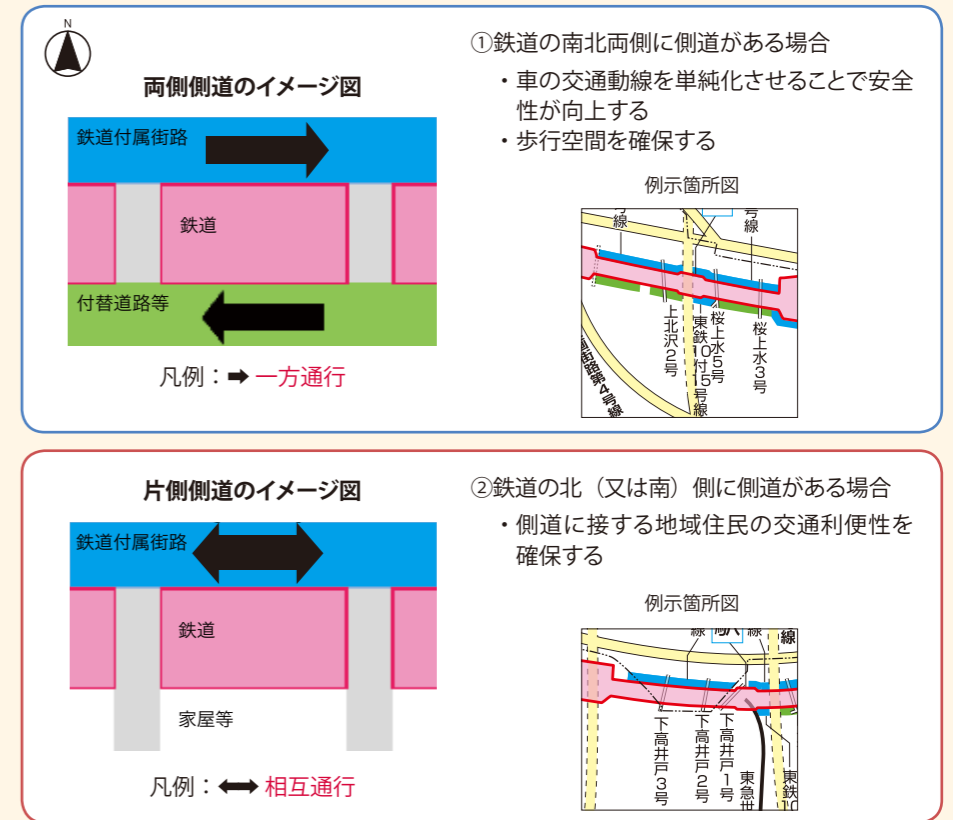


※交差道路とは、鉄道と交差する道路のことです。本事業では、高架化した鉄道の下を道路が通ることになります。これにより、踏切事故がなくなり道路と鉄道それぞれの安全性が向上すると共に、これまで鉄道により分断されていた地域の一体化が図られます。



交通運用の基本的な考え方

今回の連続立体交差事業で整備する側道について、世田谷区と杉並区は、交通運用の基本的な考え方について検討を進めてきました。交通運用の基本的な考え方は次のとおりです。
なお、現況道路に交通規制がある場合などは別途配慮します。



今後、事業の進捗にあわせ、地元の皆様のご意見を参考にして交通管理者である警視庁と協議しながら各側道の設計を進めていきます。

③ 説明会での主な質疑応答

工事

Q 工事は具体的にいつ・どこから行いますか？
A 工事は最初に付替道路整備を行い、その後鉄道高架化工事を行います。どこから入るかは、用地取得の状況によります。

Q 家屋調査とは、どのような目的で何を行うのですか？
A 鉄道工事区域の近隣の方々に対し、鉄道工事による家屋等への影響を調べるために行います。調査は、鉄道工事開始前に家屋等の内外の現状を確認し、スケッチや写真などの記録を取らせて頂きます。鉄道工事完了後、万一、工事により家屋等に影響が生じた場合は、家屋の事後調査を実施し、因果関係を確認の上、適切な対応をいたします。

Q 通学路などを工事車両が通行する際の安全対策はどうなるのですか？
A 通勤・通学時間に配慮し、交通誘導員を配置するなど安全の確保を徹底します。

事業

Q なぜ、高架式になったのですか？
A 鉄道の構造形式は、除却できる踏切数や事業費等を比較検討し、合理的な高架方式としました。

Q 将来、駅舎の位置が大きく変わる可能性はあるのですか？
A 駅舎の位置を変えてしまうと、人の流れも変わり、街への影響も大きいため、現在の駅舎の位置を基本に今後検討していきます。

計画

Q 大地震に対する安全性はどうなっているのですか？
A 阪神淡路大震災以降の耐震基準に基づいて設計・補強された構造物については、東日本大震災の際にも明らか被害がみられなかったと言われております。本事業では、東日本大震災を踏まえた新しい耐震基準に基づき、鉄道高架橋の設計を行うことで安全性を確保していきます。

Q 連続立体交差事業と世田谷区道路事業（補助第154・216号線等）との関係はどうなっているのですか？
A 補助第154・216号線等については、連続立体交差事業と同日に事業認可を取得し、併行して事業を進めています。連続立体交差事業と同時期の完成を目標に取り組んでいきます。

環境への影響

Q 高架化後の騒音の環境への影響はどうなるのですか？
A 高架化後の騒音については環境影響評価を行っており、現況値以下との予測結果が出ております。あわせて、遮音壁の設置やレールの重量化、ロングレール化等、様々な対策に努めていきます。

その他

Q 鉄道の高架下（公共利用）についてはどうなるのですか？
A 鉄道高架下の用地は鉄道事業者の所有となりますが、高架下の利用可能面積のうち15%程度は沿線区や東京都による公共利用が可能となります。事業の進捗にあわせ、東京都、沿線区及び京王電鉄において協議を進め、地域の皆様の要望を確認しながら、沿線の魅力を向上させる計画を検討していきます。